

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)
信託期間	信託期間は2013年10月17日から2023年12月15日まで(繰上償還決定前は無期限)です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	abrdn Investment Management Limitedが運用する円建外国投資信託証券「Global Absolute Return Strategies Fund - Class D <sup>A</sup> H <sup>JPY</sup> 」を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

# GARSファンド

## 償還報告書(全体版)

第11期(償還日 2023年12月15日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。  
さて、当ファンドはこのたび、投資信託約款の規定に基づき、繰上償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申しあげます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

### 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

### 償還金のお知らせ

1万口当たり償還金

8,117円53銭

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当償還報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル:0120-668001  
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

**【本償還報告書の記載について】**

- ・基準(償還)価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債 組 比	券 入 率	投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		期 中 騰 落 率				
設定日(2013年10月17日)	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	—	—	% —	百万円 1
第1期(2014年10月10日)	10,537	0	5.4	10,013	0.1	0.0	98.8	582	
第2期(2015年10月13日)	10,774	0	2.2	10,023	0.1	0.0	99.5	629	
第3期(2016年10月11日)	10,299	0	△4.4	10,025	0.0	—	99.8	1,097	
第4期(2017年10月10日)	10,489	0	1.8	10,026	0.0	—	99.0	783	
第5期(2018年10月10日)	9,912	0	△5.5	10,027	0.0	—	99.1	580	
第6期(2019年10月10日)	10,230	0	3.2	10,027	△0.0	—	99.1	398	
第7期(2020年10月12日)	10,606	0	3.7	10,025	△0.0	—	99.2	327	
第8期(2021年10月11日)	10,420	0	△1.8	10,021	△0.0	—	98.4	255	
第9期(2022年10月11日)	9,428	0	△9.5	10,019	△0.0	—	98.3	215	
第10期(2023年10月10日)	8,126	0	△13.8	10,014	△0.0	—	96.0	154	
(償還日) 第11期(2023年12月15日)	(償還価額) 8,117.53	—	△0.1	10,014	△0.0	—	—	109	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## 当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		ベンチマーク		債 組 入 比	券 率	投資信託 証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率			
(当期首) 2023年10月10日	円 8,126	% —	10,014	% —	—	—	% 96.0
10月末	8,126	0.0	10,014	△0.0	—	—	—
11月末	8,120	△0.1	10,014	△0.0	—	—	—
(償還日) 2023年12月15日	(償還価額) 8,117.53	△0.1	10,014	△0.0	—	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

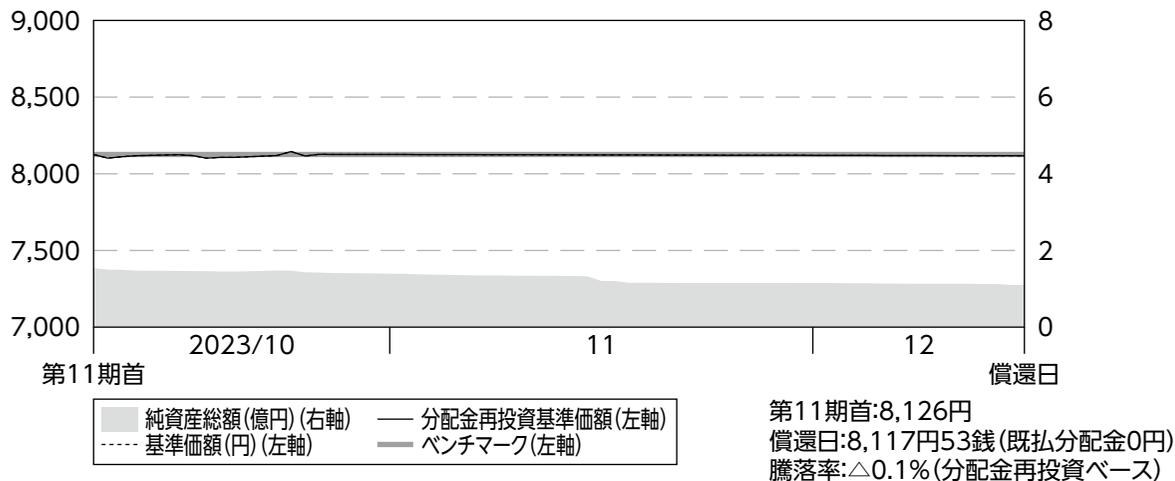
ベンチマークは日本円短期金利(無担保コール翌日物金利)で、設定日を10,000として累積投資収益率を指数化しております。

※当ファンドのベンチマークは、LIBORの恒久的な公表停止を受け2021年10月1日より「日本円短期金利(円LIBOR6ヶ月物)」から「日本円短期金利(無担保コール翌日物金利)」に変更いたしました。

なお、2021年10月1日より前の期間については「日本円短期金利(円LIBOR6ヶ月物)」のデータを使用しています。

## 当期中の運用経過

### 基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額及びベンチマークは、2023年10月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

## 基準価額の主な変動要因

当期の10月中旬までは「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」への投資を高位に保つ運用を行い、基準価額は概ね横ばいでした。その後は、繰上償還が決定されたことに伴い、「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の全売却を行いました。結果として、当期間の基準価額は小幅な下落となりました。

当ファンドの主な戦略	戦略概要
ブラジル金利	ブラジルの金利低下からリターンを得ることを狙う戦略です。
通貨キャリー	相対的に良好なキャリー獲得が期待できる通貨に投資する戦略です。
デュレーション 米国／イタリア	米国とイタリアの金利差が拡大することを期待する戦略です。
ロング 日本円／英ポンド	日本円の英ポンドに対する上昇を期待する戦略です。
米国デュレーション	米国の金利低下からリターンを得ることを狙う戦略です。
ショート 米国株式	米国株式の下落からリターンを得ることを狙う戦略です。

## 投資環境

---

当期間では米国の金利は変動率が高く、大きく上下しました。10月は米国において、インフレ率は峠を越えたと考えられるものの、米国経済が大幅なプラス成長を維持していることを背景に金利が大きく上昇しました。その後はFRB（米連邦準備理事会）理事等の発言から、FRBが近い将来利下げを行うとの思惑から金利が大きく低下しました。米国株式も金利変動の影響を受け、金利上昇局面で下落、金利低下局面で上昇しました。一方で欧州では、高インフレの持続により欧州経済が停滞するとの見方から、金利は低下しました。通貨も金利に反応して動いた局面が多く、FRBの金融政策の動向や金利変動が市場の関心の中心であったと考えられます。

## 当ファンドのポートフォリオ

---

### ○当ファンド

当期の10月中旬までは「Global Absolute Return Strategies Fund- Class DA, H, JPY」への投資を高位に保つ運用を行いました。その後は、繰上償還が決定されたことに伴い、「Global Absolute Return Strategies Fund- Class DA, H, JPY」の全売却を行いました。

### ・Global Absolute Return Strategies Fund- Class DA, H, JPY

主に世界の株式、債券、為替、デリバティブ等の多様な資産に対して、様々な投資手法を活用した投資を行いました。

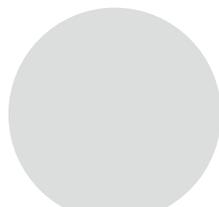
<投資対象ファンドについては、運用会社からの情報に基づき掲載しています。>

## 当ファンドの組入資産の内容

### ○組入ファンド

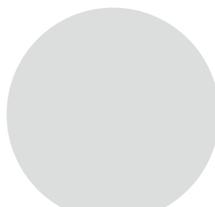
償還時における該当事項はありません。

### ○資産別配分



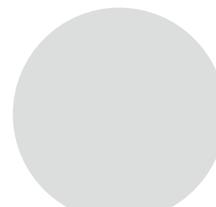
短期金融資産等  
100.0%

### ○国別配分



日本  
100.0%

### ○通貨別配分

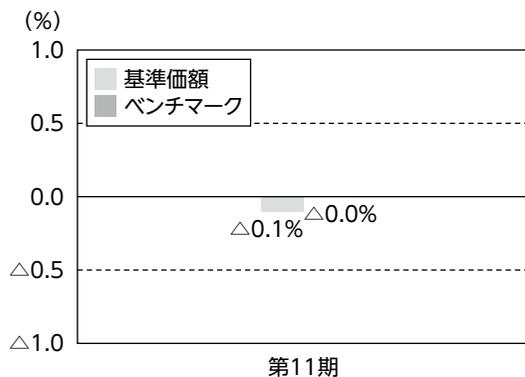


円  
100.0%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。



基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を下回り、ベンチマークとの差異は△0.1%となりました。

2023年10月下旬に当ファンドの繰上償還が決定されたことに伴い、「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の全売却を行いました。

その後、償還日まで安定運用を行った結果、ベンチマークとの差異は上述の通りとなりました。

## 分配金

該当事項はありません。

## 設定以来の運用経過

---

当ファンドの運用につきましては「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」への投資を高位に保つ運用を行いました。なお、当期の10月下旬には、繰上償還が決定されたことに伴い、「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の全売却を行いました。

### 【基準価額の主な変動要因】

#### <第1期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が上昇したことなどから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

#### <第2期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が上昇したことなどから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

#### <第3期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が下落したことなどから、当ファンドの基準価額は下落しました。

#### <第4期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が上昇したことなどから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

#### <第5期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が下落したことなどから、当ファンドの基準価額は下落しました。

#### <第6期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が上昇したことなどから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

#### <第7期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が上昇したことなどから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

<第8期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が下落したことなどから、当ファンドの基準価額は下落しました。

<第9期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が下落したことなどから、当ファンドの基準価額は下落しました。

<第10期>

当ファンドの主な投資対象である「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の基準価額が下落したことなどから、当ファンドの基準価額は下落しました。

<第11期>

10月中旬までは「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」への投資を高位に保つ運用を行い、基準価額は概ね横ばいでした。その後は、繰上償還が決定されたことに伴い、「Global Absolute Return Strategies Fund- Class D<sup>A, H, JPY</sup>」の全売却を行いました。結果として、当期間の基準価額は小幅な下落となりました。

# 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年10月1日~2023年12月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	11円	0.139%	(a) 信託報酬＝[期中の平均基準価額]×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,123円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(3)	(0.040)	
(販売会社)	(7)	(0.089)	
(受託会社)	(1)	(0.010)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.001	(d) その他費用＝ $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(—)	(—)	
合計	11	0.140	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

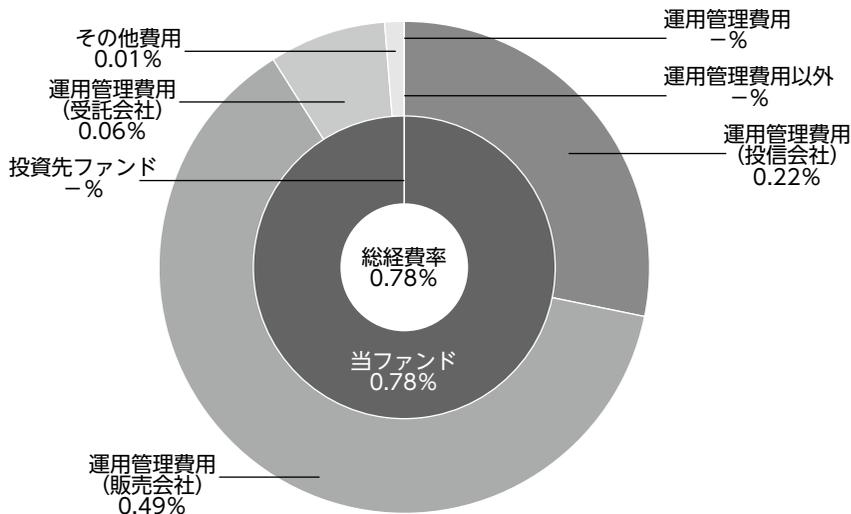
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。

## <参考情報>

### 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.78%です。



総経費率(①+②+③)	0.78%
①当ファンドの費用の比率	0.78%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	-%

(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドの費用は投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。

(注8) 投資先ファンドの運用管理費用の比率は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用しておりますが、当該計算期間において該当データがなかった為、「-%」としております。投資先ファンドの費用は総経費の計算に含みません。

(注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 売買および取引の状況

### <投資証券>

		当 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	Global Absolute Return Strategies Fund - Class D <sup>A, H, JPY</sup>	千口 0.6635	千円 1,000	千口 98	千円 148,988

(注)金額は受渡代金です。

### <親投資信託受益証券の設定、解約状況>

		当 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マネープールマザーファンド		千口 -	千円 -	千口 9	千円 9

## 利害関係人<sup>\*</sup>との取引状況等

### ■利害関係人との取引状況

区 分	当 期					
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 0.083242	百万円 0.083242	% 100.0	百万円 0.083242	百万円 0.083242	% 100.0

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

### <マネープールマザーファンド>

区 分	当 期					
	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
金 銭 信 託	百万円 2,745	百万円 2,745	% 100.0	百万円 2,745	百万円 2,745	% 100.0

<平均保有割合 0.0%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

償還時における該当事項はありません。

## 投資信託財産の構成

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 112,511	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	112,511	100.0

## 資産、負債、元本および償還価額の状況ならびに損益の状況

### ■資産、負債、元本および償還価額の状況

項 目	償 還 時 2023年12月15日現在
(A)資 産	112,511,100円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	112,511,100
(B)負 債	2,518,869
未 払 解 約 金	2,335,132
未 払 信 託 報 酬	182,345
未 払 利 息	108
そ の 他 未 払 費 用	1,284
(C)純 資 産 総 額(A-B)	109,992,231
元 本	135,499,600
償 還 差 損 金	△25,507,369
(D)受 益 権 総 口 数	135,499,600口
1万口当たり償還価額(C/D)	8,117円53銭

### ■損益の状況

項 目	当 期 自 2023年10月11日 至 2023年12月15日
(A)配 当 等 収 益	△3,027円
受 取 利 息	40
支 払 利 息	△3,067
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	79,213
売 買 益	89,155
売 買 損	△9,942
(C)信 託 報 酬 等	△183,629
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	△107,443
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△30,136,686
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	4,736,760
(配 当 等 相 当 額)	(4,145,027)
(売 買 損 益 相 当 額)	(591,733)
償 還 差 損 金(D+E+F)	△25,507,369

(注1) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は189,558,600円、期中追加設定元本額は3,956,132円、期中一部解約元本額は58,015,132円です。

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年10月17日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年12月15日		資 産 総 額	112,511,100円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負 債 総 額	2,518,869円
受益権口数	1,000,000口	135,499,600口	134,499,600口	純 資 産 総 額	109,992,231円
元 本 額	1,000,000円	135,499,600円	134,499,600円	受 益 権 口 数	135,499,600口
				1万口当たり償還金	8,117.53円
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第 1 期	552,775,205円	582,460,548円	10,537円	0円	0.0000%
第 2 期	584,455,889	629,705,804	10,774	0	0.0000
第 3 期	1,065,848,604	1,097,769,939	10,299	0	0.0000
第 4 期	746,664,209	783,140,864	10,489	0	0.0000
第 5 期	585,498,689	580,348,336	9,912	0	0.0000
第 6 期	389,281,196	398,249,004	10,230	0	0.0000
第 7 期	308,730,840	327,452,382	10,606	0	0.0000
第 8 期	245,428,372	255,742,304	10,420	0	0.0000
第 9 期	228,318,550	215,261,919	9,428	0	0.0000
第 10 期	189,558,600	154,032,744	8,126	0	0.0000

## お知らせ

該当事項はありません。

# マネープールマザーファンド

## 運用報告書

第14期（決算日 2023年11月20日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2010年2月26日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。また、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等にも投資します。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

**【本運用報告書の記載について】**

- ・基準価額は1万円当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰	落中率			
第10期(2019年11月20日)	円 10,024	% △0.1	% —	% —	百万円 544,455
第11期(2020年11月20日)	10,019	△0.0	—	—	486,701
第12期(2021年11月22日)	10,015	△0.0	—	—	358,814
第13期(2022年11月21日)	10,011	△0.0	—	—	371,933
第14期(2023年11月20日)	10,006	△0.0	—	—	236,294

(注)債券先物比率は買建比率ー売建比率です。

## 当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比
	騰	落率		
(当期首) 2022年11月21日	円 10,011	% —	% —	% —
11月末	10,011	0.0	—	—
12月末	10,010	△0.0	—	—
2023年 1月末	10,010	△0.0	—	—
2月末	10,010	△0.0	—	—
3月末	10,010	△0.0	—	—
4月末	10,010	△0.0	—	—
5月末	10,009	△0.0	—	—
6月末	10,008	△0.0	—	—
7月末	10,008	△0.0	—	—
8月末	10,007	△0.0	—	—
9月末	10,007	△0.0	—	—
10月末	10,006	△0.0	—	—
(当期末) 2023年11月20日	10,006	△0.0	—	—

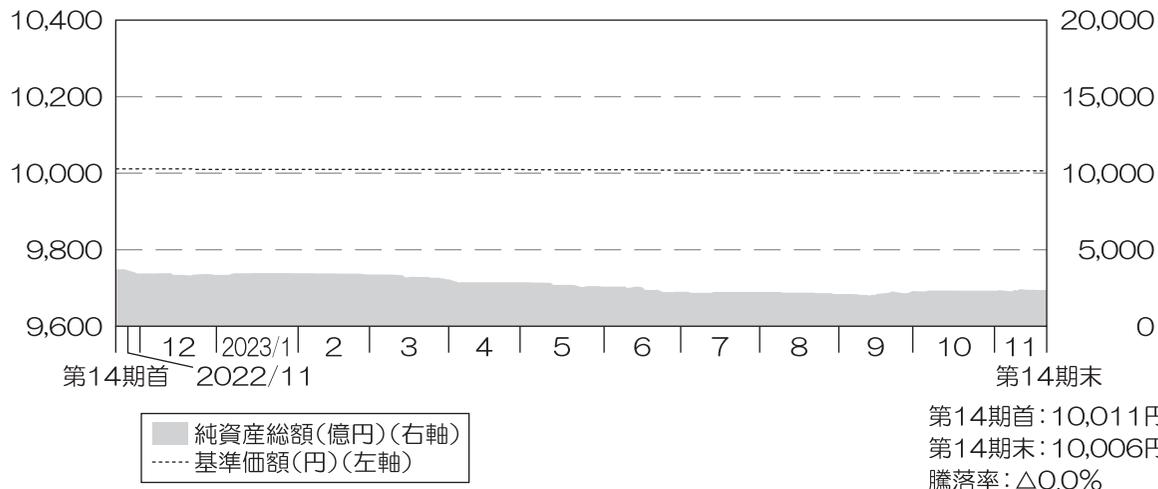
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)債券先物比率は買建比率ー売建比率です。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

## 当期中の運用経過と今後の運用方針

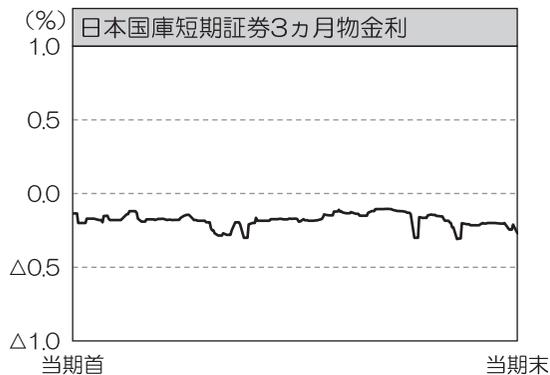
## 基準価額等の推移



## 基準価額の主な変動要因

日銀のマイナス金利政策が継続される中、3ヵ月国債利回りは期を通じてマイナス圏で推移しました。また、無担保コール翌日物金利は概ね $\Delta 0.09 \sim 0.00\%$ 近辺で推移しました。このような状況の中、基準価額は小幅に下落しました。

## 投資環境



日銀のマイナス金利政策が継続される中、3ヵ月国債利回りはマイナス圏での推移となりました。また、無担保コール翌日物金利は概ね $\Delta 0.09 \sim 0.00\%$ 近辺で推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

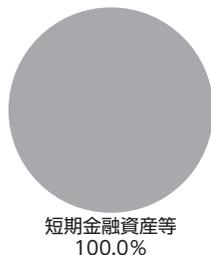
当ファンドの主要投資対象である短期国債利回りが、マイナス金利水準で推移したため、期間中の新規組み入れを見送り、コール等での運用としました。期末時点での債券組入比率は0%となりました。

## 当ファンドの組入資産の内容

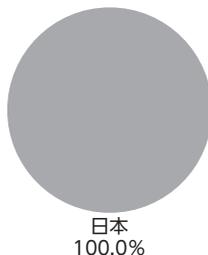
### ○上位10銘柄

当期末における該当事項はありません。

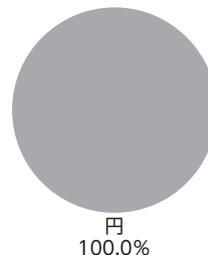
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分



(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

## 今後の運用方針

今後の運用にあたりましては、引き続き運用の基本方針に従い、主としてわが国の公社債を投資対象とし、安定した収益の確保を目指して運用を行います。ポートフォリオにつきましては、金利動向やマーケット環境を踏まえながら、債券組入比率の向上を目指します。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2022年11月22日～2023年11月20日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	－円	－%	(a) 売買委託手数料 = $\frac{\text{[期中の売買委託手数料]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(－)	(－)	
（新株予約権証券）	(－)	(－)	
（オプション証券等）	(－)	(－)	
（新株予約権付社債（転換社債））	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
（商品）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
(b) 有価証券取引税	－	－	(b) 有価証券取引税 = $\frac{\text{[期中の有価証券取引税]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(－)	(－)	
（新株予約権証券）	(－)	(－)	
（オプション証券等）	(－)	(－)	
（新株予約権付社債（転換社債））	(－)	(－)	
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) その他費用	0	0.000	(c) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
（保管費用）	(－)	(－)	
（監査費用）	(－)	(－)	
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(10,008円)で除して100を乗じたものです。

## 売買および取引の状況

当期中における該当事項はありません。

## 利害関係人※との取引状況等

### ■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金 銭 信 託	2,743	2,743	100.0	2,743	2,743	100.0
コール・ローン	68,107,751	6,936,530	10.2	68,243,391	6,936,530	10.2

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

## 組入資産の明細

当期末における該当事項はありません。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 236,294,933	% 100.0
投資信託財産総額	236,294,933	100.0

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2023年11月20日現在
(A) 資 産	236,294,933,614円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	236,294,933,614
(B) 負 債	168,372
未 払 解 約 金	312
未 払 利 息	168,060
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	236,294,765,242
元 本	236,149,122,113
次 期 繰 越 損 益 金	145,643,129
(D) 受 益 権 総 口 数	236,149,122,113口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,006円

### ■損益の状況

項 目	当 期 自 2022年11月22日 至 2023年11月20日
(A) 配 当 等 収 益	△136,362,073円
受 取 利 息	1,349,312
支 払 利 息	△137,711,385
(B) そ の 他 費 用	△8,267
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△136,370,340
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	419,101,500
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	157,694,376
(F) 解 約 差 損 益 金	△294,782,407
(G) 計 (C+D+E+F)	145,643,129
次 期 繰 越 損 益 金(G)	145,643,129

(注1) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

#### <注記事項>

※当ファンドの期首元本額は371,514,353,891円、期中追加設定元本額は203,687,601,171円、期中一部解約元本額は339,052,832,949円です。  
※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

TOPIXベアファンドF2 (建玉数量固定型/リセットあり) (適格機関投資家専用)	29,984,348,102円
TOPIXベアファンドR2 (建玉比率非調整型/リセット型) (適格機関投資家専用)	22,126,405,859円
TOPIXベアファンドF9 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	20,952,134,762円
TOPIXベアファンドF10 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	19,600,709,531円
TOPIXベアファンドF4 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	19,193,884,540円
TOPIXベアファンドF5 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	15,283,093,910円
TOPIXベアファンドF8 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	14,267,456,713円
TOPIXベアファンドF6 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	14,207,510,680円
TOPIXベアファンドF3 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	13,350,760,490円
ダイナミック・マルチエクスポート・コントロールファンド (適格機関投資家専用)	11,680,434,693円
TOPIXベアファンドF7 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	11,569,885,014円
TOPIXベアファンドF (建玉数量固定型/リセットあり) (適格機関投資家専用)	11,549,438,116円
TOPIXベアファンドR (建玉比率非調整型/リセット型) (適格機関投資家専用)	11,335,004,900円
ダイナミック・為替エクスポート・コントロール債券ファンド (適格機関投資家専用)	5,243,994,378円
ダイナミック・エクスポート・コントロール株式ファンド (適格機関投資家専用)	3,602,226,083円
リスクプレミアムαファンド (適格機関投資家専用)	2,995,805,872円
225ベアファンド8 (建玉比率非調整型/リセット型) (適格機関投資家専用)	2,930,619,829円
225ベアファンド10 (建玉比率非調整型/リセット型) (適格機関投資家専用)	2,196,843,214円
TOPIXベアファンド2 (建玉比率非調整型) (適格機関投資家専用)	1,990,042,460円
225ベアファンド7 (建玉比率非調整型/リセット型) (適格機関投資家専用)	1,604,724,257円
225ベアファンド6 (建玉比率非調整型/リセット型) (適格機関投資家専用)	298,332,775円
私募マネープールファンドAL (適格機関投資家専用)	159,522,532円
PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド (ブラジル・リアルコース)	5,182,333円
世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド (ブラジル・リアルコース)	4,087,676円
PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド (円コース)	4,005,348円
国内債券SMTBセレクション (SMA専用)	1,992,033円
世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド (豪ドルコース)	1,991,876円
世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド (円コース)	1,015,647円
世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド (米ドルコース)	1,005,802円
SuMi TRUST マルチストラテジー/SMARS (SMA専用)	1,004,876円
オーストラリア公社債ファンド	999,601円
PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド (豪ドルコース)	812,319円
MLP関連証券ファンド (為替ヘッジなし)	796,655円

バンクローン・オープン (為替ヘッジなし)	696,865円
TOPIXベアファンドF14 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	299,821円
TOPIXベアファンドF12 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	299,821円
TOPIXベアファンドF13 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	299,821円
TOPIXベアファンドF11 (建玉数量固定型/リセットありZ) (適格機関投資家専用)	299,790円
世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型ファンド (アジア通貨コース)	298,995円
債券総合型ファンド (為替ヘッジなし)	210,100円
債券総合型ファンド (為替ヘッジあり)	105,486円
PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド (米ドルコース)	99,941円
MLP関連証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,791円
バンクローン・オープン (為替ヘッジあり)	19,911円
米国地方債ファンド 為替ヘッジあり (奇数月決算型)	9,994円
米国地方債ファンド 為替ヘッジなし (奇数月決算型)	9,994円
半導体関連 世界株式戦略ファンド	9,993円
イノベーション・インサイト 世界株式戦略ファンド (資産成長型)	9,990円
リアルアセット関連証券ファンド (毎月決算型)	9,990円
リアルアセット関連証券ファンド (年2回決算型)	9,990円
イノベーション・インサイト 世界株式戦略ファンド (予想分配金提示型)	9,990円
DC脱炭素関連 世界株式戦略ファンド	9,987円
DC次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	9,987円
脱炭素関連 世界株式戦略ファンド (資産成長型)	9,983円
次世代通信関連 世界株式戦略ファンド (予想分配金提示型)	9,983円
脱炭素関連 世界株式戦略ファンド (予想分配金提示型)	9,983円
MSIMグローバル株式コンセントレイト・ファンド (SMA専用)	9,979円
世界スタートアップ&イノベーション株式ファンド	9,972円
国内株式絶対収益追求型ファンド	9,972円
NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型)	9,970円
NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)	9,970円
NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型)	9,970円
PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド (トルコ・リラコース)	9,963円
PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド (メキシコ・ペソコース)	9,963円
次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	9,962円
債券総合型ファンド (為替ヘッジあり) (年2回決算型)	9,961円
債券総合型ファンド (為替ヘッジなし) (年2回決算型)	9,961円
バンクローン・オープン (豪ドルコース) (SMA専用)	9,961円
バンクローン・オープン (円コース) (SMA専用)	9,961円
バンクローン・オープン (米ドルコース) (SMA専用)	9,961円
ブルーベイ クレジットLSファンド (SMA専用)	9,957円
債券コア・セクション	9,956円
債券コア戦略ファンド	9,953円
国内株式SMTBセクション (SMA専用)	9,953円
外国債券SMTBセクション (SMA専用)	9,952円
オーストラリアREIT・リサーチ・オープン (毎月決算型)	9,951円
外国株式SMTBセクション (SMA専用)	9,951円
米国地方債ファンド 為替ヘッジあり (毎月決算型)	9,950円
米国地方債ファンド 為替ヘッジなし (毎月決算型)	9,950円
次世代通信関連 アジア株式戦略ファンド	4,989円
NWQフレキシブル・インカムファンド 為替ヘッジあり (毎月決算型)	4,985円
米国地方債ファンド 為替ヘッジなし (年2回決算型)	1,990円
米国地方債ファンド 為替ヘッジあり (年2回決算型)	1,990円
オーストラリアREIT・リサーチ・オープン (年2回決算型)	1,990円
PIMCO 世界不動産関連債券ファンド (為替ヘッジあり) (年2回決算型)	997円
PIMCO 世界不動産関連債券ファンド (為替ヘッジなし) (毎月決算型)	997円
PIMCO 世界不動産関連債券ファンド (為替ヘッジあり) (毎月決算型)	997円
PIMCO 世界不動産関連債券ファンド (為替ヘッジなし) (年2回決算型)	997円

## お知らせ

当ファンドの運用実態を踏まえ、デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日：2023年7月8日)